

生誕250年記念展

酒井抱一と 江戸琳派の全貌



2011年10月10日(月・祝)～11月13日(日)

休館日＝10月24日(月)、10月31日(月)

※ 展示替のため展示室、ミュージアムショップは休室

開館時間＝10:00-18:00 [毎週金・土曜日は20:00まで]

※ 入場受付は閉館の30分前まで

※ 開館時間は節電等のため変更となる場合がございます

観覧料＝一般1000円(800円)／大学生700円(560円)

※ 小・中・高校生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

※ ()内は前売、団体20名以上、および千葉市内在住60歳以上の方の料金

※ 前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ(10月2日まで)、

ローソンチケット(Lコード:33788)、セブンイレブン(セブンコード:013-267)、

千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口

(11月13日まで)にて販売

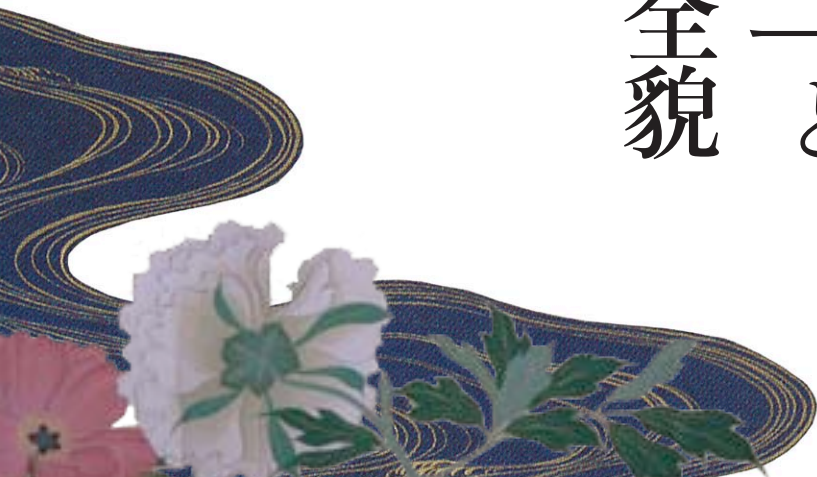
※ 10月18日(火)は「市民の日」につき観覧無料です。

※ 本展は10月24日、31日に展示替えを行います。リピーター割引をご利用下さい。

本展チケット(有料)の半券のご提示で、2回目の観覧料が半額になります。

主催＝千葉市美術館

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art



酒井 抱一(1761-1828)は、名門譜代大名家である酒井雅楽頭家の二男として江戸に生まれました。若き日より俳諧や書画をたしなみ、20代で狂歌や浮世絵などの江戸の市井文化にも手を染めた抱一は、37歳で出家して自由な立場に身を置きます。そのころから琳派様式に傾倒し、江戸後期らしい新たな好みや洗練度を加えた、今日「江戸琳派」と呼ばれる新様式を確立していきます。風流で典雅な花鳥画を得意としながらも、風俗画や仏画、吉祥画や俳画などさまざまな主題や作風に対応しうる柔軟性を持ち、多くの文化人との関わりながら、独自の世界を作り上げました。

抱一の没後も江戸琳派は実に一世紀近く命脈を保ち、特に高弟の鈴木其一(1796-1858)や、池田孤邨(1801-1866)らの幕末期の活躍は、近年大きな注目を浴びているところです。

本展は、抱一の生誕250年を記念し、代表作の《夏秋草図屏風》(重要文化財)、《十二ヶ月花鳥図》(宮内庁三の丸尚蔵館蔵)をはじめとする優品の数々や多様な作品を、新出資料も含め多数紹介してその画業を回顧すると共に、後継者たちの個性にも光を当てようとする過去最大規模の展覧です。

出品総数は約320件、そのうち抱一作品約160件、其一作品は約60件となります。(会期中に展示替えがあります。)

□展示替スケジュール

10/10(月)	10/24(月)休館	10/31(月)休館	11/13(日)
第1週	第2週	第3週	第4週
	展示替え	展示替え	第5週

関連企画

■オープニングトーク

第一話「抱一に魅せられて―細見コレクションと江戸琳派」

講師：細見良行(細見美術館館長)

第二話「酒井抱一の大回顧展に寄せて」

講師：岡野智子(細見美術館上席研究員)

10月10日(月・祝)13:00より 11階講堂にて

先着150名様／聴講無料

■記念講演会(すべて事前申込制)

「酒井抱一の雅俗」 講師：小林忠(千葉市美術館館長)

10月16日(日)14:00より ※申込締切 10月10日(月・祝)〔必着〕

「鬼才・鈴木其一の魅力」 講師：河野元昭(秋田県立近代美術館館長)

10月23日(日)14:00より ※申込締切 10月14日(金)〔必着〕

「酒井抱一と下谷」 講師：河合正朝(慶應義塾大学名誉教授)

10月30日(日)14:00より ※申込締切 10月21日(金)〔必着〕

以上すべて 11階講堂にて 定員150名 聴講無料(開場は13:30を予定)

【お申込方法】

往復はがきに郵便番号、住所、電話番号、氏名、年齢、参加希望の企画名、人数(各2名までお申込可)を明記の上、下記までお送りください。

※はがき1枚につき、1企画のお申込となります。(応募多数の場合は抽選)
〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8 千葉市美術館 企画係

■市民美術講座

「酒井抱一と江戸琳派～新出資料紹介を中心に」

講師：松尾知子(当館学芸員)

11月6日(日)14:00より 11階講堂にて 先着150名 聴講無料

■ギャラリートーク

担当学芸員による10月12日(水)14:00より

ボランティアスタッフによる一會期中の毎週水曜日(10月12日を除く)14:00より ※他の平日14:00にも行うことがあります。

□近隣における関連の催し

プラネタリウム特別投影「星とアロマのひととき」

星空映像、酒井抱一の絵画と植物スキャン画像のコラボレーションを、天然エッセンシャルオイルの香りとともに。

9月23日(金)、24日(土)《夏秋草図屏風》

10月21日(金)、22日(土)《四季花鳥図巻》

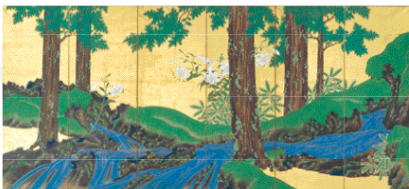
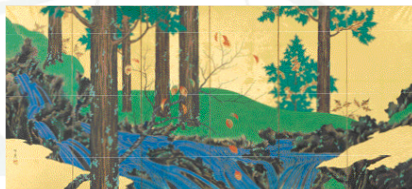
会場：千葉市科学館7階プラネタリウム いずれも19:00～19:45

(千葉市中央区中央4-5-1 tel: 043-308-0511)

本展覧会は、細見美術館に巡回します。(2012年4月10日～5月13日)展示作品は異なる部分があります。

□次回展予告

「瀧口修造とマルセル・デュシャン」11月22日(火)～2012年1月29日(日)
美術評論家としても活躍した詩人瀧口修造と20世紀美術の巨匠マルセル・デュシャンの交流を、二人の作品や資料、関連作家の作品により跡づけます。



- 1 酒井抱一《四季花鳥図屏風》文化13年(1816) 陽明文庫蔵(第3・4・5週展示)
- 2 酒井抱一《妙音天像》文化11年(1814)
- 3 酒井抱一《松風村雨図》天明5年(1785) 細見美術館蔵
- 4 酒井抱一《桜に小禽図》細見美術館蔵
- 5 鈴木其一《夏宵月に水鶏図》
- 6 酒井抱一《月に秋草図屏風》文政8年(1825)
- 7 酒井抱一下絵/原羊遊斎作《四季草花蝶細時絵茶箱》
- 8 鈴木其一《夏秋溪流図屏風》根津美術館蔵(第1・2週展示)

【交通案内】

◎ JR 千葉駅東口より

・ 徒歩約15分

・ バスのりば⑦より大学病院行または

南矢作行にて「中央3丁目」下車徒歩約3分

・ 千葉都市モノレール県庁前方面行

「霞川公園駅」下車徒歩約5分

◎ 京成千葉中央駅東口より徒歩約10分

◎ 東京方面から車では京葉道路・東関東自動車

道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、

貝塚IC下車国道51号を千葉市街方面へ約

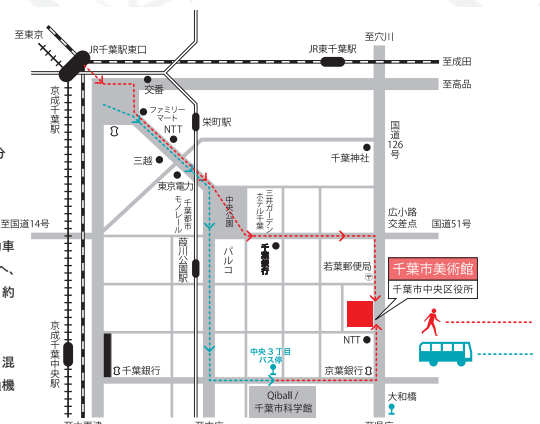
3km、広小路交差点近く

◎ 千葉市中央区役所と同じ建物です

◎ 地下に区役所と共有の駐車場がありますが、混

雑が予想されますので、なるべく公共の交通機

関をご利用ください



千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8
Tel. 043-221-2311(代) FAX. 043-221-2316
http://www.ccma-net.jp

